

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2019年 第171号 令和元年9月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事

対談! 環境研究クラブ
かかしと市議会



特集記事（対談）	2・3P
審議結果（トピックス）	4～6P
委員会活動等	6～8P
一般質問	8～11P
きみの未来、あなたの未来	12P
議会のうごき 編集後記	

令和元年11月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

環境研究 クラブ と 市議会

特集記事第19回は、環境研究クラブ「かかし」のみなさんとの対談です。

さて、どんな活動をしていけるのでしょうか？



森の再生を小さな活動から！

【環境研究クラブ「かかし」は、どのような活動をしていますか】

●移住してからクラブを結成し、今年で4年目を迎えます。近隣の方々と一緒にイベントを行い、自然を楽しみながら環境についての話をしています。

●今は、環境保全の基になる知識を広める活動が中心で、地元や都会の子どもとその家族が参加していく、ださっています。皮むき間伐「きらめ樹」の体験も、勝浦生まれの勝浦育ち。子供活動もそのひとつです。

【実際に間伐を体験させていただいて、少人数でも林の再生はできることを実感しましたが、耕作放棄地につい

●共生の視点で、動物保護施設をつくりています。また、実生の苗を環境の良いところに植えたり、川の流れや水脈がより良くなるようなアプローチの仕方を伝えたりしています。

【楽しさや充実感を感じるのは、どんな時ですか？】

●私達は3人とも、勝浦の自然が大好きで移住してきました。それぞれの子どもは、勝浦生まれの勝浦育ち。子供

もに何を残せるかを考えながら、活動をしていること自体が喜びです。

●山に入るだけで子どもは自由に遊び、様々な経験をしていきます。例えば、「水が湧いている、すごい！」それを皆と共有し、自然の素晴らしさを体感する時、楽しさや充実感を感じています。

【実際に間伐を体験させていただいて、少人数でも林の再生はできることを実感しましたが、耕作放棄地につい

では、いかがお考えですか？】

●耕作放棄地は、解決策がほとんど無く、どのような形で運用したら良いのか思案しています。

先々は：・都会からの家族が木を植え、週末に遊びに来ながらメンテナンスを行う。そういう人たちが繋がり「食べられる森をつくるう！」をテーマに、お金を使わず皆の力で立ち上げていく等。

山林を元気にすると共に、荒れ果てた耕作放棄地をこのような形で活かす方向を考えていかなければと思います。

【現在、空き地だけでなく、農地や耕作放棄地を転用しての太陽光発電が多くなりましたが、お考えは？】

●太陽光発電はともかく、山を切り崩して造るメガソーラーは、大きな問題があると思っています。勝浦と状況は違いますが、襟裳岬では植林をして、漁獲量が30倍になりました。それだけ山の自然環境を海がダイレクトに受け取ります。また、山の開発やその作業道は自然のサイクルを分断してしまう

ため川の氾濫や土砂崩れなどの災害も起こりやすくなります。

●太陽光パネルには寿命があります。25年から30年が寿命と言われていて、経済産業省資源エネルギー庁が20年後に太陽光パネルのゴミが大量に出るという廃棄物問題を取り上げていました。

そのようなことを認識した上で、判断してもらうことが重要です。
その中で、市で規制をつくってもらえば、非常に心強いです。

【勝浦の自然にふれ、活動している立場から、今後、勝浦市をどんな街にしていきたいと思いますか？】

●近隣市町の方々と「自然遊びの会」を立ち上げ、御宿ではトレイルコース、いすみでは団体が管理している山で、子ども達は伸び伸びと遊んでいます。

勝浦市には、人が入っていける山がありません。縁の中で思い切り遊べる街にしてほしいと思います。

●移住して感じること。勝浦は犯罪がとても少なく、安心して暮らせ、子ども達も心配なく遊べます。地元の人達と繋がりあうことができ、素晴らしい

ピュアな所だと思います。

だからこそ、企業誘致とかではなく、勝浦が好きだからここに住みたいと言う人たちが増えるような取り組みをしていくことが重要だと思います。

ファミリー層にとって、自然の中での子育てに魅力を感じることができることで『自然を活かした街』にしていきたいと思います。



中林 靖晴 氏



池田 豪 氏



中林 碧海 氏

※「きらめ樹」とは、木の皮をむいて、ゆっくり立ち枯れさせ、一年半乾燥した状態で伐採する画期的な間伐手法です。（NPO法人「森の蘇り」が実施）

令和元年9月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○9月定例会 会期 9月9日から9月26日まで18日間

審議案件一覧

○全会一致

○賛成多数

×賛成少数

議案番号	件 名	付託委員会	結 果
議案第19号	特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について	総務文教	可決○
議案第20号	勝浦市立幼保連携型認定こども園設置管理条例の制定について	産業厚生	可決○
議案第21号	勝浦市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決○
議案第22号	勝浦市立幼稚園使用料条例及び勝浦市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教及び 産業厚生	可決○
議案第23号	勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決○
議案第24号	平成31年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教	可決○
議案第25号	平成31年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	産業厚生	可決○
議案第26号	決算認定について (平成30年度勝浦市一般会計歳入歳出決算)	決算審査	認定○
議案第27号	決算認定について (平成30年度勝浦市国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定○
議案第28号	決算認定について (平成30年度勝浦市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定○
議案第29号	決算認定について (平成30年度勝浦市介護保険特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定○
議案第30号	利益の処分及び決算認定について (平成30年度勝浦市水道事業会計決算)	決算審査	可決及び 認定○
議案第31号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めるについて		同意○
議案第32号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めるについて		同意○
議案第33号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めるについて		同意○
議案第34号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めるについて		同意○
議案第35号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めるについて		同意○
議案第36号	勝浦市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて		同意○
請願第3号	太陽光発電設備の規制および自然や景観を守る条例制定の請願	産業厚生	採択○

議員提出議案

発議案第3号	勝浦市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について		可決○
発議案第4号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について		可決○

議会報では、審議された全ての議案の中から市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

●トピックス その1

勝浦市立幼保連携型認定こども園設置管理条例が 制定されました。

勝浦市立幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関し必要な事項を定めるために、新しく条例を制定しようとするものです。

主な内容

名 称：勝浦市立勝浦こども園
位 置：勝浦市出水1200番地
定 員：200人
開園時間：午前7時30分から午後6時まで
休 日：日曜日、祝日、年末年始
(12月29日から翌年1月3日まで)

条例制定の審議に先立ち、9月議会初日に、現在建設整備中の同施設の視察を行いました。



●トピックス その2

12月定例会から採決方法で電子表決システムの利用が 可能となりました。

発議案第3号勝浦市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について現行会議規則第70条に起立による表決として表決方法が規定されていますが、電子表決システムも可能となるよう規則を改正するとともに、電子表決システムの運用を規定する改正を行いました。

市議会では、議会の録音、映像配信のための議会システムが老朽化等により、12月定例会から運用する予定で改修します。新しい議会システムでは、参議院でも採用されている電子表決システムが利用可能となっています。

この電子表決システムでは賛成、反対の投票ボタンを押すことで、表決結果を正確に集計し、モニターに表示することが可能となります。

このことにより、傍聴者等にも議員の賛成、反対の投票結果がより確認しやすくなります。

電子表決は千葉県下37市中実施している市は8市であり、近隣市においては未実施であるため、先進性の取り組みという点でも大きな一步です。

※現在の採決方法は一部を除き、慣例により挙手により表決が行われています。



●トピックス その3

新たな過疎対策法の制定に関する意見書を提出しました。

令和3年3月末をもって現行の「過疎地域自立促進特別措置法」が失効することに伴い、新たな過疎対策法の制定に関する意見書について、議員全員の賛同により発議案第4号として提出し、本会議で可決しました。なお、これにより、内閣総理大臣をはじめ、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣に意見書を提出しました。

勝浦市は、平成26年度から過疎地域自立促進特別措置法の適用を受け、認定こども園整備事業や小中学校冷房設備整備事業をはじめ、道路整備事業、観光事業などに過疎対策事業債を活用して事業を行ってきました。

過疎対策事業債は一定の条件のもと、借り入れが可能となるだけでなく、借入額の約7割が地方交付税として勝浦市に入ってくる大変有利な制度であり、勝浦市の重要な財源の一つとなっていることから、新たに過疎対策法を制定してもらえるよう要望するものです。

(意見書の内容)

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要であり、新たな過疎対策法の制定を強く要望するものです。

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

議案第19号特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について及び議案第21号勝浦市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について、第22号勝浦市立幼稚園使用料条例及び勝浦市立保育所条例の一部を改正する制定について、そして議案第24号平成31年度勝浦市一般会計補正予算について、総務文教常任委員会に付託されました。

クリーンセンター管理運営についての質問や海岸堤防等、老朽化対策事業についての質問、公共土木施設災害復旧や社会教育費及び文化財保護事業に関する質問が多く出され慎重なる審議の結果、全て可決されました。

最終日の本会議において、総務文教常任委員長からの審査結果報告後、採決を行い、全会一致により付託された条例3件と一般会計補正予算は「可決」となりました。

決算審査特別委員会

平成30年度勝浦市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、以上4件の歳入歳出決算、水道事業会計の利益の処分及び決算を審査するため、7人の委員による決算審査特別委員会を設置し、9月20日及び24日の2日間、予算の執行状況、財政運営等や予算執行に関する諸帳簿の確認と審査の結果、一般会計は賛成多数（賛成6、反対1）で、その他4会計はいずれも全員賛成で認定すべきものと決定しました。

なお、一般会計において、決算について認定できないとの反対討論がありました。
反対討論における反対理由の要旨

- 1、道の駅整備事業を、市の一方的な判断により白紙撤回したため業務委託料が全くの無駄となった。
- 2、勝浦荒川線の道路改良工事は、問題が多くあるにも関わらず適正な設計とは認められない。
- 3、北中跡地活用のための野球場整備事業予算を議会に説明なく府議で決定したとの理由で、予算を組み替え整備事業を先送りとした。

委員長、副委員長及び委員は次のとおりです。

委員長	副委員長	委 員
末吉 定夫	照川 由美子	・磯野 典正・岩瀬 洋男・久我 恵子 ・鈴木 克己・松崎 栄二

決算審査特別委員会での主な質問

Q ふるさと応援寄附金について

- A 新しい返礼品のアイデアを、体験型商品等を中心に掘り出して探したい。
また、市長もふるさと納税等をトップセールスしていく。

Q 道の駅整備事業の白紙撤回による基本設計等業務委託料について

- A 成果物としては予定地に建てるための内容ですが、今後、観光基本計画の見直し等、市の発展のために活用したい。

Q 子育て支援の充実として、認定こども園の開園時間を午後7時まで延長することについての市長の見解は

- A 保育士の職場環境、保育士の数の問題を含め、可能であれば延長していきたい。
日曜開所までつなげるため保育士の数を検証して、子育て世帯の期待に応えたい。



決算審査特別委員会の様子



関係諸帳簿及び証書類検査

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会では、条例制定議案3件（議案第20号「勝浦市立幼保連携型認定こども園設置管理条例の制定について」、議案22号「勝浦市立幼稚園使用料条例及び勝浦市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について」、議案第23号「勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について」）と、補正予算案1件（議案第25号「平成31年度勝浦市介護保険特別会計補正予算」）及び請願1件（太陽光発電設備の規制および自然や景観を守る条例制定の請願）の付託を受け、9月19日に委員会を開催しました。

審議の結果、条例制定議案3件と補正予算案1件は「全員賛成」で原案可決となりました。請願1件は「賛成多数」で採択となりました。

以上の審議結果について、9月26日の本会議において、産業厚生常任委員長からの審議結果報告後、採決を行い、議案4件については「全員賛成」で可決、請願1件については「賛成多数」で採択となりました。

市政のココが聞きたい



9月11日・12日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

9月12日		9月11日	
佐藤 啓史 議員	鈴木 克己 議員	久我 恵子 議員	岩瀬 洋男 議員
①市長の政治姿勢について	①総合計画等と市長選挙公約との関係について ②選挙公約3大プロジェクトについて ③浜勝浦川の浄化対策について	①市長の所信表明について ②セネガル共和国ルセセン市との交流について	①地域防災について ②市長の所信表明を受けて ③持続可能な地域について

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。
また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。





照川由美子議員

環境の改善が課題と言え

川に変化が見られた経過をお伺いします。



岩瀬洋甲謙昌

市長の選挙公約について

施計画の期間内において、全体事業と調整のうえで実施したいと考えて

漁業法改正に伴う県規制 改正の検討と、本市漁業 振興の課題について

C 鮭などの特定水産動

機物の操作禁止にかかる
変更点をお伺いします。

A 密漁撈山を図るために

規則の改正時期は来夏の見通しです。

Q 漁業者の高齢化が進む中、本市漁業振興における

ける課題は何か、掲げた

のか、お伺いします。

化による廃業の進行の

付 渔獲不振 魚価の低下

等漁業經營の安定性の低下が要因と考えます。

確保や魚価向上等の経営

○ 鶴丸量盛其 田年三



バイオ資材投入

Q 延宝地震クラスの津波にそなえ、興津港海岸の防潮堤の高さを現状から2m10cm嵩上げする計画が千葉県より示され、それに対し地域の皆さんや団体の代表等で検討会議が開催されたがその結論はどうなったのか。

A 興津区としては防潮堤を高くすると海が見えなくなり避難や漁業に支障をきたすことから嵩上げでのハード対策は反対との意見であった。

夷隅土木事務所の見解は、今回は行わないとの方向性が出ても計画はそのまま残し、今後地域の皆さんとの意見等が変わつてくれば、また検討させていただきたいとのこと

市長の選挙公約について

Q 水道料金30%以上の値下げ公約は、2億1千万円以上の収益が減収となるがその補填はどう考えているのか。

また、その実施時期は。

A 水道事業の費用抑制及び剰余金の活用、一般会計からの繰り出し等について減収補填の可能性の有無及びその規模を検討して補填財源を捻出したい。時期については第4次実施計画の策定の中で検討する。半分以上は県の高料金対策を活用するが、何とか補填額が出せるようにしたい。

Q ごみ袋値下げの公約もあるが、その方法と実施時期は。

A 値下げの方法としては証紙の価格を下げる方向で考えている。

実施時期は第4次実



興津区の防潮堤



戸坂健一議員

市長の所信表明について

Q 市長は所信表明において「3大プロジェクト」として水道料金や「ゴミ袋代の値下げ、国民健康保険税負担軽減など、様々な政策を打ち出した。しかし、市長の公約を全て実現するには毎年約2億円財源が必要となる。そこで、各事業の優先順位と実施時期についてどのようにお考えか伺う。

A それぞれの事業について、今後議会の意見や市民の意向を伺いながら、現在策定中の第4次実施計画に反映しつつ事業実施の手法や時期を検討していくたい。

Q 市民は厳しい家計・経営状況が続く中、新市長の公約実現に大きな期待を寄せている。実現出来なければ大きな政治不信につながりかねない。

来年度予算編成に向けて、どの公約を優先するのか、また政策の進捗状況を市民にどう伝えていくのか。

A 3大プロジェクトを絶対やり抜くという覚悟のもと、予算の確保に努めまた既存事業の見直しを行い財源を捻出したい。

Q 市長は市民からの大きな信託を受けて当選された。だからこそ、勝浦市の舵取りを誤らぬ様未来の勝浦市にとって負担となるような政策は見直

国民健康保険税について

国民健康保険税の
決まり方

項目	割合
国保税	最大
病院での個人負担	中
国などの補助金等	最小

Q 市長公約の中に朝市及び中央商店街の活性化検討、朝市と共に存できる複合施設の検討とあります。具体的にどのような活性化対策、複合施設を考えなのか、またその実施時期はいつ頃をお考えなのかお聞きします。

存できる複合施設までは、朝市の即した施設の設置をして、中心市街地活性化に盛り込み、地圖の皆様や関係諸団体様からの意見等をされ段階を追って活用図つてまいりたいとします。

浜勝浦川の浄化について

Q 浜勝浦川の臭気質は、市民や勝浦川の観光客に悪印象をています。今後の準備、景観整備についてどのように進めいかお聞かせ下さい

A 水質改善の為に、オ資材の投入により、水質が改善さ

浜勝浦川の浄化対策について

改善された浜勝浦川

A 今後、第4次実施計画の中で事業の精査を行
る中で、年間約2億円の財源が必要となる事業が現段階で実施可能なのか。

しも含めて慎重かつ柔軟に検討すべきと考えるが、

朝市及び中央商店街の活性化について

増加を図り、商店街の活性化については、eスポーツ大会等、イベント開催でのぎわい創出等による活性化策を実施しています。また朝市と共に、思われますが、ポイ捨て問題が残されています。不法投棄防止対策に関しては、監視カメラの設置により一定の効果が現れています。



久我南了議員

ましては、朝市の現状即した施設の設置を検し、中心市街地活性化画に盛り込み、地域住の皆様や関係諸団体の様からの意見等を取りれ段階を追つて活性化図つてまいりたいと考てています。

浜勝浦川の浄化対策について

Q 浜勝浦川の臭気や質は、市民や勝浦を訪る観光客に悪印象を与えてます。今後の環境備、景観整備について後どのように進めていのかお聞かせ下さい。

A 水質改善の為の才資材の投入により臭及び水質が改善された

末頃完成予定の勝浦漁港臨港道路の歩道整備も踏まえ、浜勝浦川の浄化対策を市民の共通認識として、ホームページや広報で周知したいと考えています。



鈴木克己議員

**総合計画等と市長選挙
公約との関係について**

Q 市長選挙での公約を実現するための重要な計画となる来年度からの第4次実施計画の策定を早急に進めることが必要ですが、その対応等についての考えは。

A

現在の第3次実施計画の評価検証の上で、議会や市民との対話による市民意向を把握し、自治体経営、地域経営の視点で、公約した諸施策を反映させます。

Q 土屋市政として、本年度予算組み替えの考えは。

A

本年度の各種事務事業については、評価検証を行つが、予算の組み替えは考えていない。

組む。

選挙公約3大プロジェクトについて

Q 地域産業・観光商業・戦略的パワーアップの中

Q 市住みやすさ向上対策での水道料金とごみ袋代の値下げについての考えは。

A 水道料金の3割削減は4年間で成し遂げる。

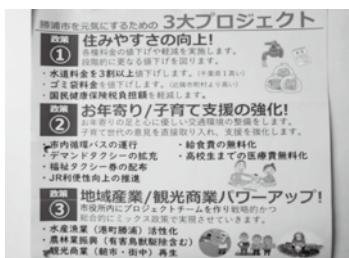
8月に、料金引き下げのために必要な県の補助金を申請した。来年度から段階的に引き下げを実施していく。

ごみ袋代金は、制作費や販売方法などを検証した上で、引き下げを実施する。

Q お年寄り、子育て支援券を配布するとあるが、この対応は。

A

高齢者の方からの要望である移動手段の確保のために、近隣市町でも実施している福祉タクシー券を配布を、財源を捻出し実施に向け取り組む。



公約3大プロジェクト



Q 土屋市長のまちづくりの考え方をお聞きする。

Q 公約に対する職員の意識を把握し、すり合わせながら重要事項に対応するチームを発足し、各課を横断的にミックスして取り組む。

A

今までの慣例的な手法ではなく民間手法を取り入れた体制づくりです。

市長のまちづくりでは、議会と手を携え、市政運営を進める。3つには、市民の意見を積極的に取り入れ、市政に反映させるため、場をつくり、情報提供する。4つには、職員の能力向上に努め、市政運営を行う。

Q 市長選挙前に新聞折り込みで入った「つちや元後援会ニュースNo.1」では、住みよさランキングで全国814市区中811位であり、勝浦市は住みにくいまちであると指摘し、その原因は

行政の停滞であり、変えるためには強いリーダー

シップが必要であるとしている。行政の停滞とはどういうことか?また土屋市長の考える住みよいまちは?

新しい勝浦、「日本一の地元愛の力でつくるおもてなし・おもいやり

のあるまち」の実現に努めたい。

Q 女性の視点、アイデアを活かすまちづくりに対する市長の考え方をお聞きする。

A 1つには、トップセールスマントとして勝浦市の売り込み、企業誘致を積極的に行う。2つには、議会と手を携え、市

政運営を進める。3つには、市民の意見を積極的に取り入れ、市政に反映させるため、場をつくり、情報提供する。4つには、職員の能力向上に努め、市政運営を行う。

Q 勝浦市は住みにくいまちか?

A 勝浦が大好きだから住んでいる。

Q 土屋市長の描く勝浦市の将来ビジョンをお聞きます。

A 完全に良健康体である。

Q 市民と行政が知恵を出し合って行動する協働の場、まちづくりの基本理念を大事に、各地域の誇りづくり、住民との対

話と協働しながら、憲章にある「心と心のふれあいを大切に」をモットーに、「地元愛の力でつくるおもてなし・おもいやりあるまち」の実現に努めたい。



きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 3年
高橋 杏弥さん
たかはし あずみ

私の将来の夢はキャビンアテンダントになることです。小さい頃に観た映画に出てきたキャビンアテンダントさんがとてもかっこよく、なりたいと思ったことがきっかけです。また、色々な国の文化を知りたい、たくさんの人と関わってみたいと思い、この職業が夢になりました。

私は今、この夢を叶えるために英語を一生懸命勉強しています。英語を勉強することは楽しいし、苦ではありません。将来、一人でも多くの人の空の旅を笑顔にできるキャビンアテンダントになるという夢を絶対に叶えたいです。

議会のうごきについて報告します (令和元年8月～令和元年10月)

議会のうごき

8月3日	裕和園納涼会	19日	産業厚生常任委員会
5日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会臨時会	20日	決算審査特別委員会
10日	按針祭（静岡県伊東市）	21日	勝浦裕和園敬老会
13日	議会運営委員会	24日	決算審査特別委員会
	かつうら若潮まつり花火大会	26日	本会議 最終日 全員協議会・議会報編集委員会
16日	8月臨時会	10月1日	上野地区敬老会
21日	水道事業運営審議会	3日	日本武道館開館55周年記念式典（東京都）
30日	夷隅都市広域市町村圏事務組合定例会（いすみ市）	4日	議会運営委員会
9月4日	議会運営委員会	8日	防犯組合総会
9日	本会議 初日 全員説明会・全員協議会	10日	10月臨時会 議会表彰選考委員会
11日	本会議 一般質問	15日	千葉県市議会議長会定例総会（千葉市）
12日	本会議 一般質問 議会改革検討委員会	28・29日	総務文教常任委員会行政視察 (茨城県かすみがうら市・笠間市)
14日	勝浦大漁まつり	28～30日	全国漁港漁場大会（広島県）
17日	本会議 質疑	30日	議会報編集委員会
18日	総務文教常任委員会		

編集後記

今年の秋は残暑の厳しい日々が続きました。異常気象は地球温暖化の影響なのでしょうか。全国各地で自然災害が起り、比較的災害に強いと思っていた勝浦市も台風15号、19号及び21号では強風による停電、断水、家屋の損壊等の被害に遭いました。被災された皆様に議会一同、心からお見舞い申し上げます。

市民の皆様が安心、安全な生活が送れるよう市議会としても取り組んでまいります。今後ともお気軽にご意見、ご感想をお寄せください。

議会報委員会副委員長 久我 恵子

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ！

勝浦カッピー

